



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日
上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社
コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 信彦
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671
四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,258	7.2	622	72.8	560	136.3	458	141.1
2022年3月期第1四半期	4,906	—	360	—	237	—	190	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 459百万円 (188.7%) 2022年3月期第1四半期 159百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	57.11	—
2022年3月期第1四半期	23.71	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	90,082	21,085	23.4
2022年3月期	92,351	20,626	22.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 21,085百万円 2022年3月期 20,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,640	5.5	1,500	40.8	930	42.6	590	13.7	73.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	8,061,566株	2022年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	24,608株	2022年3月期	24,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	8,036,970株	2022年3月期1Q	8,037,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 運輸成績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立を目指しているものの、不安定な国際情勢によるエネルギー価格及び原材料価格の高騰や急激な円安の進行など、先行きに不透明感が続く状況で推移しました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は5,258百万円となり前年同期に比べ352百万円(7.2%)増加、営業利益は622百万円となり前年同期に比べ262百万円(72.8%)増加、経常利益は560百万円となり前年同期に比べ323百万円(136.3%)増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は458百万円となり前年同期に比べ268百万円(141.1%)増加しました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」等の補助を活用しながら、軌道の強化等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、有馬線花山駅においては、駅舎のリニューアルとともにスロープ及び多機能トイレを新設するバリアフリー化工事を、有馬線大池駅においては、上りホーム側駅舎のリニューアル工事を進めております。

営業活動については、企画ハイキングにおいて、「粟生線全線開業70周年記念スタンプラリー」を開催するとともに、リアル謎解きゲームがセットになった「有馬グルメ&湯けむりチケット」を2022年4月に発売したほか、上方落語の定席「神戸新開地・喜楽館」と連携した「神鉄・高速×喜楽館 笑い放題切符」を6月に発売するなど、旅客誘致に努めました。

また、駅舎と駅周辺の土地の活用を図る「#駅活~Challenge~」やアウトドアを通じた当社沿線の地域活性化を図る「KOBE Rail&Trail」等の沿線自治体や地域の皆様と連携したプロジェクトを推し進め、駅や当社沿線の活性化による人口定着や鉄道の利用促進に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は3,154百万円となり、前年同期に比べ366百万円(13.1%)増加し、営業利益は373百万円となり、前年同期に比べ255百万円(216.1%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致を進めるなど、収益の拡大に努めました。

また、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場(神戸市中央区)」他5施設について、円滑な運営に努めております。

しかしながら、前年同期に販売土地を売却した影響等により、当第1四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は492百万円となり、前年同期に比べ38百万円(7.2%)減少し、営業利益は232百万円となり、前年同期に比べ24百万円(9.4%)減少しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、2022年4月に移動スーパー「とくし丸」の運営を開始するとともに、5月に「神鉄食彩館北鈴店(神戸市北区)」のリニューアルを行うなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業及び飲食業においては、各店舗で増収に努めました。

しかしながら、巣ごもり需要の縮小、エネルギー価格や食料品価格の高騰に伴う節約志向の高まり、競合の激化等により、当第1四半期連結累計期間の流通業の営業収益は1,225百万円(前年同期比7.0%減)となり、営業損失は13百万円(前年同期は営業利益9百万円)となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ2,269百万円減少の90,082百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、買掛金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ2,728百万円減少の68,996百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ459百万円増加の21,085百万円となり、自己資本比率は23.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,262	1,304
受取手形及び売掛金	1,284	978
短期貸付金	69	85
販売土地及び建物	279	279
商品	121	127
貯蔵品	396	444
その他	2,576	980
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,988	4,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,519	41,197
機械装置及び運搬具(純額)	5,434	5,280
土地	34,691	34,691
建設仮勘定	240	241
その他(純額)	551	553
有形固定資産合計	82,436	81,964
無形固定資産		
その他	577	559
無形固定資産合計	577	559
投資その他の資産		
投資有価証券	1,126	1,127
長期貸付金	352	318
退職給付に係る資産	1,419	1,469
その他	468	462
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	3,348	3,359
固定資産合計	86,362	85,882
資産合計	92,351	90,082
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,692	767
短期借入金	29,298	30,295
未払法人税等	91	103
前受金	975	818
賞与引当金	49	91
その他	2,634	3,162
流動負債合計	35,741	35,239
固定負債		
長期借入金	29,539	27,389
繰延税金負債	255	252
再評価に係る繰延税金負債	3,471	3,471
退職給付に係る負債	108	111
長期末払金	812	772
長期預り保証金	928	926
その他	866	834
固定負債合計	35,982	33,757
負債合計	71,724	68,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	6,974	7,433
自己株式	△88	△88
株主資本合計	18,596	19,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250	256
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,503	1,503
退職給付に係る調整累計額	275	270
その他の包括利益累計額合計	2,029	2,030
純資産合計	20,626	21,085
負債純資産合計	92,351	90,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業収益	4,906	5,258
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	3,939	4,008
販売費及び一般管理費	606	627
営業費合計	4,545	4,636
営業利益	360	622
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	18
受託工事事務費戻入	0	71
雑収入	53	4
営業外収益合計	69	94
営業外費用		
支払利息	147	141
雑支出	45	15
営業外費用合計	192	156
経常利益	237	560
特別利益		
工事負担金等受入額	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
工事負担金等圧縮額	—	12
特別損失合計	—	12
税金等調整前四半期純利益	237	560
法人税、住民税及び事業税	49	104
法人税等調整額	△3	△3
法人税等合計	46	101
四半期純利益	190	458
親会社株主に帰属する四半期純利益	190	458

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	190	458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	5
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	△9	△5
その他の包括利益合計	△31	0
四半期包括利益	159	459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159	459
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	2,783	471	1,315	4,570	335	4,906	—	4,906
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4	59	2	66	232	299	△299	—
計	2,788	530	1,317	4,636	568	5,205	△299	4,906
セグメント利益又は損失(△)	118	256	9	384	△14	370	△9	360

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△9百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	3,150	436	1,222	4,808	449	5,258	—	5,258
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4	56	2	64	228	292	△292	—
計	3,154	492	1,225	4,872	678	5,551	△292	5,258
セグメント利益又は損失(△)	373	232	△13	592	23	615	6	622

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額6百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 運輸成績

		当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	増減率
輸 送 人 員		千人	千人	%
	定期外	4,558	3,550	28.4
	定期	9,062	8,785	3.2
	計	13,620	12,335	10.4
旅 客 収 入		百万円	百万円	%
	定期外	1,074	836	28.6
	定期	1,050	1,032	1.8
	計	2,125	1,868	13.7

(注) 輸送人員は千人未満を、旅客収入は百万円未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。